



## 2024年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年6月10日

上場会社名 トビラシステムズ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4441 URL <https://tobila.com>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 明田 篤  
問合せ先責任者（役職名） 取締役最高財務責任者（氏名） 金町 憲優（MAIL） [ir@tobila.com](mailto:ir@tobila.com)  
管理部長  
四半期報告書提出予定日 2024年6月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年10月期第2四半期の業績（2023年11月1日～2024年4月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	1,154	14.3	437	22.5	437	22.6	312	32.5
2023年10月期第2四半期	1,009	20.3	357	27.5	356	31.2	235	49.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2024年10月期第2四半期	円 銭 29.97		円 銭 29.78					
2023年10月期第2四半期	円 銭 22.38		円 銭 22.22					

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第2四半期	3,830	2,152	56.2
2023年10月期	3,646	2,136	58.6

（参考）自己資本 2024年10月期第2四半期 2,152百万円 2023年10月期 2,136百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年10月期の業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350	14.0	755	10.6	754	11.0	500	△3.4	47.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期2Q	10,629,600株	2023年10月期	10,629,600株
② 期末自己株式数	2024年10月期2Q	215,350株	2023年10月期	71,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期2Q	10,423,074株	2023年10月期2Q	10,536,188株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は「私たちの生活 私たちの世界を よりよい未来につなぐトビラになる」を企業理念として掲げ、この企業理念に基づき、「誰かがやらなければならないが、誰もが実現できていない社会的課題の解決を革新的なテクノロジーで実現すること」を事業方針の軸としております。当社事業は、電話を活用した振り込め詐欺に代表される特殊詐欺や、スマートフォンやショートメッセージサービス（SMS）を悪用したフィッシング詐欺などの抑止に効果的な迷惑情報フィルタ事業です。迷惑情報フィルタ事業は、モバイル向け、固定電話向け及びビジネスフォン向けの3つのサービスを展開しております。

モバイル向けフィルタサービスでは、前四半期に引き続き、一部通信キャリアとの契約において価格条件を引き上げて更改いたしました。また、迷惑広告コンテンツをブロックするアプリ「280blocker」の認知拡大に努め、販売促進を行いました。固定電話向けフィルタサービスでは、ケーブルプラス電話における当社サービスの販売が順調に推移いたしました。ビジネスフォン向けフィルタサービスでは、オフィス電話に必要な便利機能を搭載したビジネスフォン向け製品「トビラフォンBiz」の販売やクラウド型ビジネスフォンサービス「トビラフォン Cloud」の販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は1,154,034千円（前年同期比14.3%増）、営業利益は437,998千円（前年同期比22.5%増）、経常利益は437,038千円（前年同期比22.6%増）、四半期純利益は312,430千円（前年同期比32.5%増）となりました。

なお、第1四半期会計期間より、「迷惑情報フィルタ事業」の単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は3,830,883千円となり、前事業年度末に比べ183,981千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が187,826千円増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が27,764千円増加したこと、有形固定資産が18,248千円減少したこと、のれんが32,952千円減少したこと及び投資その他の資産が14,001千円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は1,678,791千円となり、前事業年度末に比べ168,726千円増加いたしました。これは主に、契約負債が217,548千円増加したこと、その他の流動負債が20,711千円減少したこと及び長期借入金25,020千円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,152,092千円となり、前事業年度末に比べ15,254千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益を312,430千円計上したこと、利益剰余金が配当金の支払いにより179,490千円減少したこと、自己株式が128,518千円増加したこと及びその他有価証券評価差額金が16,938千円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末と比較して187,826千円増加し、2,592,433千円となりました。各キャッシュ・フローの主な状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は596,052千円(前年同期は546,152千円の増加)となりました。これは主に、法人税等の支払額が145,844千円、売上債権及び契約資産の増加が28,072千円、投資有価証券売却益の計上が29,999千円、あったものの、税引前四半期純利益を467,038千円、減価償却費を56,577千円、のれん償却額を32,952千円計上したこと、長期前払費用の減少が19,688千円あったこと、未払金の増加が17,763千円があったこと及び契約負債の増加が217,548千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は15,721千円(前年同期は110,245千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15,471千円、投資有価証券の売却による収入30,000千円及び無形固定資産の取得による支出30,393千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は392,504千円(前年同期は136,389千円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出25,020千円、自己株式の取得による支出188,171千円及び配当金の支払179,313千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2023年12月8日に公表した通期業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,404,607	2,592,433
受取手形、売掛金及び契約資産	247,980	275,744
電子記録債権	6,614	6,922
商品及び製品	95,825	91,592
仕掛品	62	-
原材料及び貯蔵品	2,782	2,169
その他	58,405	77,850
貸倒引当金	△268	△223
流動資産合計	2,816,009	3,046,489
固定資産		
有形固定資産	103,808	85,559
無形固定資産		
のれん	192,222	159,270
ソフトウェア	193,077	185,236
その他	19,732	18,273
無形固定資産合計	405,032	362,780
投資その他の資産	322,053	336,054
固定資産合計	830,893	784,393
資産合計	3,646,902	3,830,883
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,290	14,874
未払法人税等	156,112	153,438
契約負債	905,258	1,122,806
その他	237,693	216,981
流動負債合計	1,314,354	1,508,101
固定負債		
長期借入金	195,710	170,690
固定負債合計	195,710	170,690
負債合計	1,510,064	1,678,791
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	332,358	332,358
資本剰余金		
資本準備金	296,658	296,658
資本剰余金合計	296,658	296,658
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,607,593	1,734,428
利益剰余金合計	1,607,593	1,734,428
自己株式	△99,772	△228,291
株主資本合計	2,136,837	2,135,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	-	16,938
評価・換算差額等合計	-	16,938
純資産合計	2,136,837	2,152,092
負債純資産合計	3,646,902	3,830,883

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	1,009,621	1,154,034
売上原価	296,841	318,044
売上総利益	712,779	835,989
販売費及び一般管理費	355,358	397,991
営業利益	357,420	437,998
営業外収益		
受取利息	7	11
サービス解約収入	21	24
助成金収入	17	-
その他	5	6
営業外収益合計	51	41
営業外費用		
支払利息	488	403
株式報酬費用消滅損	342	423
その他	57	174
営業外費用合計	887	1,002
経常利益	356,584	437,038
特別利益		
投資有価証券売却益	-	29,999
特別利益合計	-	29,999
税引前四半期純利益	356,584	467,038
法人税、住民税及び事業税	131,747	143,988
法人税等調整額	△10,920	10,618
法人税等合計	120,826	154,607
四半期純利益	235,758	312,430

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	356,584	467,038
減価償却費	53,726	56,577
のれん償却額	32,952	32,952
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	50	△44
受取利息及び受取配当金	△7	△11
支払利息	488	403
株式報酬費用消滅損	342	423
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△14,737	△28,072
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21,188	4,908
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△12,180	19,688
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,480	△416
未払金の増減額 (△は減少)	40,094	17,763
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△29,999
契約負債の増減額 (△は減少)	213,222	217,548
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,529	△16,195
その他	212	△275
小計	643,609	742,289
利息及び配当金の受取額	7	11
利息の支払額	△488	△403
法人税等の支払額	△96,976	△145,844
営業活動によるキャッシュ・フロー	546,152	596,052
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△71,072	△15,471
投資有価証券の売却による収入	-	30,000
無形固定資産の取得による支出	△39,325	△30,393
敷金及び保証金の回収による収入	152	144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,245	△15,721
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△25,020	△25,020
自己株式の取得による支出	-	△188,171
配当金の支払額	△111,309	△179,313
その他	△59	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,389	△392,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	299,517	187,826
現金及び現金同等物の期首残高	1,435,764	2,404,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,735,282	2,592,433

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年12月8日開催の取締役会決議に基づき、2023年12月11日付で自己株式200,000株(取得価額188,000千円)の取得を行っております。また、2023年1月26日開催の取締役会決議に基づき取締役に対して無償付与した譲渡制限付株式のうち、取締役1名の退任に伴い権利が失効することとなった1,500株を無償取得しております。

さらに、2024年1月23日開催の取締役会決議に基づき、2024年2月22日付で取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分、及び、執行役員及び従業員に対する譲渡制限付株式の割当に伴う自己株式の処分による払込手続を完了いたしました。処分した当社普通株式数は58,100株、処分価額は1株につき895円、処分価額の総額は51,999千円であります。

この結果、譲渡制限付株式の処理と併せて、当第2四半期累計期間において利益剰余金が6,105千円減少、自己株式が128,518千円増加しております。